



さかど

学校とは人と人が触れ合う場

先日の学級懇談会の場で少しお話させていただきましたが、こちらにも載せさせていただきます。

世の中には様々な教育の場、社会教育・家庭教育・学校教育があり、学校教育の果たすべき役割は子供達が望ましい人間関係のもと、たくさんのことを学んでいくことだと考えています。

小学校中学年はよく、ギャングエイジと呼ばれます。この場合のギャングとは、低学年の時に個で動いていた子供達が集団で活動するようになるだけでなく、無条件で周囲と仲良くしてきた子供達に自我が芽生え、仲間を作り、そのグループで仲良くなろうとするものの表れです。

したがって、友達とぶつかるのは当然ですし、そのグループに入る、入らない等様々なことが起こります。そして子供達はその中で色々なことを学びます。初めからうまくいく子供はいませんし、うまくいってばかりでは学ぶことができません。多少のトラブルは必要です。それを温かい目で見守っていくことが子供の健やかな成長につながるものと思いますし、学校・家庭・地域の連携が重要となってくるものだと考えています。よろしくお願いいたします。

学校が進める授業→学び合う授業

坂戸市では、児童が主体的に学習に取り組めるよう、「学びづくり」の研修に取り組んでいます。また、本校では「校内研究」といって学校全体で研究テーマを設けておりますが「主体的な学びづくり」を掲げています。そこでは、今まで学校で行われてきた授業、学び方の価値観の大きな改革が重要です。

違い ① 授業中のおしゃべりは自由です！

子供たちは、学習課題をペアやグループで自由に話し合いながら、共に解決していきます。授業を黙って静かに受ける必要はありません。

② 先生は極力目立たないようにします！

基本的には教師は勉強を教えません。周りの児童とつながっていない子を見つけ、つなげることが重要な役割です。授業のまとめの段階で学習を価値づけるという役割もありますが、授業時間のほとんどは教室に児童の声しか聞こえません。（事前に魅力ある課題をつくることも教員の大切な仕事です。）

③ 教わっていないこともどんどんやって構いません！

発展的な学習も以前は「それはまだ勉強していないことですよ。」と先生に注意されることもありましたが、そのようなことはありません。課題解決のための道筋はいくらでもあるのでどのような道を通ってもいいのです。また、タブレットの使用により、発展的な学習に触れる場面も増えています。

ねらい

この授業スタイルの一番のねらいは、何といたっても児童の主体的な学習を促すことです。これまでの

学校教育では、児童の知識・技能を高めることが重要視されてきましたが、これからの時代、それらはAIにとって代わるものであり、人間に求められていくのは知識・技能をどう活用するか、思考力・判断力・表現力が重要になってきます。そのような力をつけるための学習の手法です。

文部科学省も「主体的、対話的で深い学び」の重要性を打ち出しています。これを具体化したもののひとつが現在取り組んでいる授業づくりであると認識しています。特に小学校段階では、それぞれの教科・領域の特性に子供たちに触れてもらい、学習が好きになるようにしていくことが重要な役割だと考えています。

授業研究会

月1回程度発表者を決めてお互いに見合う授業を行っています。また、年3回指導者を招聘して全体で授業研究会を計画しています。その際は4時間授業とさせていただいておりますがご理解ください。

2000年に埋めたタイムカプセル

今からおよそ25年前、平成12年12月2日に125周年の記念として、「坂戸小学校PTAタイムカプセル事業」という希望者によるタイムカプセルを埋める事業が行われました。150周年を記念した行事のなかで、引き取りが行われたのですが、残念ながら多くの品物が残されたままだそうです。少しでもわかればということで、当時の役員さんがポスティングも始めてくださっています。間違えてポストに入っていた場合は、学校までご連絡ください。

まだ引き取られていない方、引っ越しされた方、引っ越しされた方をご存じの方は学校に一報くださるとありがたいです。ちなみに私も引き取りに来たのですが、当時入れていなかったらしく私の記念品はありませんでした。でも当日懐かしい顔をたくさん見られてよかったです。

見守り隊大募集！！

坂戸小学校の校区は南北？（正確に言うと南西・北東）に長く伸びており、駅でいうと北坂戸駅から坂戸駅の間までの広い範囲です。ほとんどが街中であり、交通量が多い地域です。要路が多く、要路同士の交差点も多数あり、安全面で配慮が必要な地区であることも改めて分かりました。

そんななか、PTAの皆さんや交通指導員さん、地域の皆さん方など朝から多くの方々が登校の見守りをしてくださっていることがわかりました。特に、通学班の集合場所で、外で子供たちを見送っていただいている多くの保護者の方々の姿を目にし、感銘を受けました。

一方で誰も大人のいない交差点を目にすることも多く、子供たちだけで安全に気を付けながら道路を渡っている姿が見られました。特に朝は交通量が多く、急いでいる方々も多く見受けられ、一層の見守りが必要だと認識しました。先日の第1回学校運営協議会においてもそのことを話題にさせていただき、今年度の課題としてご賛同いただきました。

保護者の皆様、地域の皆様で朝や午後の時間帯に子供たちの見守りが可能な方がいらっしゃいましたら、学校までぜひ、ご連絡ください。見守り隊の募集をさせていただいております。

また、今年度はPTAの皆様にご協力いただき、緑のベストを購入する予定です。街中の交差点毎に見守りの皆様がいてくださると、ドライバーの安全意識が高まることは間違いありません。どうかご協力のほど、よろしくお願いいたします。